

溺れる幼児を救つた

感心な喜一少年

さのう愛谷江の濁流で

▽平署で表彰方を具申

る事になつた

江名作業所

竣工

仲間町五〇日東商會員伊知川隆久氏長男博(六)が昨三日午後四時頃附近の愛谷江筋附近で遊戯中誤つて水深五尺の江筋に轉落アツヤ溺死せんとして居たのを水泳中の同町第一校四年生佐藤喜一(一〇)君が発見危険を冒して辛じて救助したが平署では勇敢な喜一少年を人命救助で縣に表彰方を申請す

江名信用組合が豫てより同町字永崎上神白地内に工費千九百圓を以つて着工中であつた共同作業所は此の程竣工したので吉成農業技術員が明五日竣工検査を行ふ

継母の虐待から

少年復た家出

縣社の境内で夜を明す

親を説諭・引渡す

既報去月十七日継母の虐待の手を逃れて家出したが父親戀しさから實家に歸るべく平町で子供用自轉車を窃取し磐崎村地内を奔走中平署員に取押へられた上遠野村字日向農猪之松三男熊谷丹三(三)假名は其の後平署員の同情で繼母ハル(三)さんにも注意し實家に引取られて居たが最近また一繼母は事毎に同少年を虐待し初めたので居耐れず去る二日再び無一物で家出し平

郡教育會で

圖書研究會

石城郡教育會では福島縣圖書科研究會創設のため同支部を設置し研究會展覽會

講習會等によつて圖書教育の向上發展を圖ることとなつたが支部長は篠山平第一校長に決定した

町の青年團主催で

町民體育大會

来る三十一日第三校で

平町青年團主催第七回町民體育大會は来る廿一日(日)午前八時より平第三小學校々庭で催されるが競技種目は

第一部 百米 八百米 繼

走 鱒のかみ 寶探し

パン食競走 自轉車おそ

乗り競走 東西對抗綱引

三十才以上の五十米

第二部 百米 四百米

千米 瑞典繼走 千五百米

一萬米 俵運び 走巾跳

走高跳 砲丸投

その他來賓の寶探し、分團

長繼走等であるが出場資格

は學生、生徒を除いた滿二

十五才以下の團員又は當日

一ヶ月前より平町に引續き

居住する町民で平町より優

勝旗並びに町長盃を第一部

八百米繼走の勝者分團に保

明日のラジオ
五
天
今晩も明日も北
東の風曇

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「金魚」松井佳一
- 後六、二五 講演「アマトリカ合衆國の父」ワシントン・イー・エイチ・ザウグ
- 後七、三〇 講演「最近歐米の放送事業を視察して」葦村外雄
- 後八、〇〇 論曲「松風」

明日の部

- 前六、三〇 實用文講座

海水浴場も新たに

四倉の迎客準備

四倉脱衣場組合では梅雨開けを待つて各地から押寄せ来る海水浴客接待の爲め種々対策を練つて居るが本年は築港工事が進捗し昨年迄新町海岸に設置された脱衣場は狭隘なので組合では本年から本町裏海岸に設備し衛生設備等にも大いに改善を加へて浴客へのサービスに努める事になつた

熊岡氏熱演

世界館への人氣

映畫説明界の第一人者熊岡天堂氏解説の名畫に付世界館ではかねて懸賞募集中であつたが、切まで應募殺到し三十日世界館で抽籤の結果、果實等内郷村横木定君にて外五十名に夫々同館入場券を贈つた、尙問題の名畫は

郡下體操講習會

講師東京から招聘

福島縣體育協會石城支部では来る廿六、廿七、廿八の三日間平第一小學校で夏期體操講習會を開催主として低鐵棒運動について實地講習を行ふが講師は體育方面で全國小學校のナンバーワンである東京市大久保小學校の職員二名が兒童一名と共に來平の筈である

服部嘉香

- 前七、〇〇 朝の修養「觀經散善の義」岩井智海
- 前八、〇〇 母の時間
- 「少年少女に對する社會的影響」東京少年審判所長鈴木賀一郎
- 後八、〇〇 琵琶「伊豆の御難」石川錦紹
- 後八、二〇 婦人の時間
- 「浴衣の話」京都高等工藝學校々授向井實三郎
- 後八、四〇 小學生の時間
- 國語「海底見物」東京コドモグループ
- 後三、一〇 教師の時間
- 「憲法上に於ける我が國體」法學博士佐藤丑次郎

松竹超特作「母の愛」で前後篇全部をいよ／＼今日より晝夜二回に亘り四日間の短期公開を開始した同映畫は常磐炭田を中心に撮影してゐるだけ當地地方ファンには見のがせぬものがあり特別演出の熊岡氏の大衆藝談が人氣を蒐めてゐる

シネマ週報

世界館 松竹超特作オー

市原醫院

平町・田町
電話一四番

平裁判たより

△勿來町大字酒井字出倉一
二菓子業商阿部力(三)は去



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史

第六十六回

運命と戀 (五)

「おい、茂平次」
大志賀のふしぎな力強い
聲だつた。

「あいよ」

「眞實、おとわは左様に申
して居つたか」

「わしも高田屋の手代茂平
次でござすぞ。なんで嘘を
云はうかい、まづ嘘と思ふ
たらおとわに會つてみなさ
れ、おとわはホテル館の二
階で今頃お前さんの姿を空
に描いてこがれてゐる事で
ござせう」

「だが、こゝはおとしあな
だぞ」

「あ、さうだつた。わしら
アおとしあなに落されて居
つたのか」

茂平次はいま時分やつと
自分の非運をかへりみるの
だつた。

幻に夢にまでゑがいてを
るおとわがホテル館の二階
パークスの室へ戻つて居る
と聞いて、俄に大志賀の胸
に不思議な力がみなぎつた
だが、この力をどうして
生かさうかにやはり迷はぬ
わけにいかない。
絶望のおとしあなから抜
け出すには自力ではなく、
運命が手を貸してくれなげ

ればならぬ。傳馬町の牢屋
では木隠がその運命の手と
なつて暗夜に救つてくれた
いまこの、煉瓦づくりの
倉庫を破らうと思案するの
も實はその運命の手を空だ
のみしてゐるに過ぎなかつ

「窓はなし、入口の鐵の扉
壁は厚い煉瓦……どうも、
駄目らしいな……しかし駄
目にしてあきらめたんでは
此の儘死んで了はねばなら
ぬ、千鳥に残してきた仕事
は山程ある。わしはどうで
も死にたくはない」
「同様さ、しやばに居る時
は生きてゐる事に未練もな
かつたが、かうして暗い中
へ入れられると、やはりも
う一度あばれて見たいと思
ふな」
彼はそれには答へずに
「大志賀さん、とにかく兩



た。
「大志賀さん」
となりの茂平次にやみく
もの中で聲をかけた。
「おう、何だ」
「お前さん、何とか此處を
抜け出す工風はないものか
ね」
「それよ、おれも今その思
案に餘つて居るのさ」

人面つき合つて抜け出す工
風を考へようではござせん
か」
「面つき合ふ？ それには
間の壁が邪魔をする」
「なアにこんな壁など」
自信あり氣にいつて、彼
は壁に寄りそつた儘エイツ
と懸聲をかけて飛びついて
みた。

なるほど間の壁は案外
低く、飛びついた兩の手が
仕切の上端にかゝつた。
「いま、そちらへ往きます
ぞ」
彼はするするとすりあが
りに壁の上端にのぼり、反
對側へまたざる／＼とおり
た。床板に足がどくとど
と「大志賀さん、どこでござ
す」
くらやみをすかし見る様
にした。と、すぐ足もとに
大志賀市之丞の聲があつた
「おうこつちぢや」
手をのべたらしい、こち
らも手をのべて双方が固く
思はず手を握り合つた。
こん／＼と身内に湧きあ
がる運命が取持つふしぎな
友情だ。

七月一日ヨリ一七日間

夏の呉服大賣出し

三井別染特選柄 單帯と呂九寸新柄陳列
ゆかた地特賣 きぬ麻小紋とボイル陳列
盛夏用京吳服類 音曲といなづまゆかた地
大提供 大提供

御贈答には御便利な
三井の商品券

福島縣平町
三井呉服店

小商店員募集

新車御披露

素晴らしい乗心地の!!!
三十五年式流線型新車が
参りなした

是非御試乗御利用の程を御願申し
ます

平 二
三井タクシー
電話八六五番

丹野齒科醫院

丹 野 淳 夫
平野前 電話三八五番

自轉車は左記

有名車を御撰擇下さい

- ◎ 世界的ニ進出セル
- ◎ 宮田ノ自轉車
- ◎ 夙ニ堅牢輕快ノ定評アル
- ◎ ゼブラノ自轉車
- ◎ 實用經濟車トシテ好評アル
- ◎ マーツ號自轉車

◎ マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ
偽物を販賣なし商標を侵害なしつゝある者あ
り法的解決により御得意様の御了解を得ん

宮田代理店 エビスヤ商店
ゼブラ代理店 マツ代理店
電話六六四

外科

門 專 X
科 線 光

上田外科醫院

平町 南町
電話一二九番